

第19次 チェルタルド市訪問 中学生国際交流研修団 報告記

第19次チェルタルド市訪問中学生国際交流研修団20人が8月18日から29日まで、友好親善姉妹都市イタリア・チェルタルド市やローマなどを訪問しました。

中学生16人は、市内の同年代の子どものいる家庭に6泊7日のホームステイをしながらイタリアの文化に触れました。日本との生活習慣の違いなどを肌で感じるとともに、温かいもてなしを受け交流を深めました。

研修に参加した団長・団員の感想を紹介します。

◆ 遠い国の家族

家族の一員として受け入れてくれ、家族の一員として溶け込んだ。そんなホームステイだったと感じました。中学生たちは小さな親善大使として役目を果たしてくれました。また、実際に会う、体験する、目にすることの大切さを再認識したチェルタルド市での滞在でした。

◆ 団長 森平仁志(町長)

遠く離れたイタリア・チェルタルド市にも家族がいる。このことを心に刻み、今回の経験を中学生団員は今後生かしていただけることでしょう。

この交流に携わっていただいたすべての皆さんに心から感謝いたします。



チェルタルドで過ごした最後の夜

■ 上條 驚詠さん(3年)

イタリアの歴史ある文化について学び、そしてイタリアの人と交流したことによって、イタリアがどんなに魅力的かを学ぶことができてとても嬉しかったです。

■ 佐藤 蒼太さん(3年)

今回の研修に参加して色々なことを経験しました。チェルタルドの方は、言葉や文化などが全く違うにも関わらず優しく受け入れてくれたことが嬉しかったです。

■ 篠原 理織さん(3年)

イタリアでたくさんを経験し、学ぶことができました。ホストファミリーと過ごす日々はとても楽しく、かけがえない思い出です。一生忘れない思い出ができました。

■ 清水 空麗さん(3年)

一緒にご飯を食べたり、遊んだり、色々な所へ行ったりしてみんなと絆を深めることができました。チェルタルド市で過ごした時間は、私のかげがえのない宝物です。

■ 伊藤 颯汰さん(2年)

今回チェルタルドに行って日本とイタリアの生活文化、食文化などを学ぶことができました。ホームステイをした経験をまた海外に行く時に生かしていきたいです。

■ 金井 哩さん(2年)

一番感動したのは最後の晩餐をみたことで、想像以上に大きくて驚きました。イタリアのお母さんが作ってくれたラザニアが美味しくておかわりをして食べました。

■ 黒澤 陽さん(2年)

イタリアと日本の食文化の違いや建物の違いにとても驚きました。イタリアの建物は日本とは違う造りになっていました。この研修はとてもいい経験になったと思います。

■ 黒澤 雅道さん(2年)

イタリアはとても歴史的な国であると事前の研修などで知っていましたが、それを上回るほどの彫刻の細かさ、建物の大きさ、絵画の保存状態などとても驚きでした。行って良かったと思います。

■ 小金澤 駿さん(2年)

コロッセオなどの建造物や最後の晩餐などの美術品はとても迫力があり、感動しました。ピザやパスタもとても美味しかったです。忘れられない体験になりました。

■ 齊藤 奏さん(2年)

ホームステイをした時に、最初は不安でいっぱいでしたが、慣れてくると1日1日がとても楽しくて、短い間だったけど一生残るような思い出になりました。

■ 高橋 季歩さん(2年)

研修団に参加させていただきありがとうございました。国内では学べなかった事、見られなかったものを、目の前で学べたことはとても貴重な体験になりました。

■ 高橋 昊さん(2年)

トイレや家の造りなど様々な日本との違いを感じられました。中でも言語の違いでつまずきました。イタリアの方々には温かく受け入れてくれて楽しく行けました。

■ 橋本 侑和さん(2年)

イタリアと日本では文化や言語は全く違うけど、コミュニケーションをとる事ができて嬉しかったです。一緒に遊べて楽しかったです。とてもいい経験ができました。

■ 山崎 正翔さん(2年)

ホームステイでイタリアの家族と時間を過ごし、彼らの日常に触れることができました。言葉の壁はあったけど一緒に食事をしたりすることでコミュニケーションがとれました。



研修の様子は町ホームページでご覧いただけます。

問い合わせ 企画課企画係 ☎74-3133



人気店が並ぶミラノのガラリア(ショッピングモール)



テーブルサッカーで盛り上がります



ピサにあるサン・ジョバンニ洗礼堂



ホストファミリーの温かいもてなし



ローマ、真実の口



ローマにあるコロッセオの前で集合!



サン・ジミニャーノの高台からの景色



イタリアの海を満喫

甘楽町イタリア駐在事務所 開所10周年記念祝賀会

■企画課企画係 ☎74-3133

甘楽町イタリア駐在事務所開所10周年記念祝賀会が8月24日、イタリア・チェルタルド市にて開催されました。

甘楽町イタリア駐在事務所は平成27年6月1日に開所し、以来10年にわたり稲葉美代子駐在員による毎月1回の「イタリア海外駐在員便り」の発信をはじめ、子どもたちや使節団の相互派遣、ワインやオリーブオイルの輸入など、幅広い分野で両市町の交流を支えてきました。



甘楽町イタリア駐在事務所



▲「イタリア海外駐在員便り」はこちらから

祝賀会では町から森平町長、甘楽町国際交流振興協会の新井理事長、甘楽町都市農村交流協会の三木理事長らが参加し、チェルタルド市からはカンパテッリ市長をはじめ関係者など両市町あわせて57名が出席し、ともに10年の歩みを振り返りながら節目を盛大に祝いました。

稲葉美代子駐在員は「チェルタルド市はホストファミリーのようなまちで、甘楽町は大切な心の故郷です。皆さまのご支援に深く感謝するとともに、今後も両市町の懸け橋として交流を推進してまいります」と話しました。



今後の交流を約束して握手するカンパテッリ市長(左)と森平町長(右)と稲葉駐在員(中央)

茶室「甘楽庵」 畳替えを行いました

公益財団法人甘楽町国際交流振興協会は、姉妹都市のイタリア・チェルタルド市の茶室「甘楽庵」に畳10枚を寄贈しました。

「甘楽庵」は平成5年、姉妹都市提携10周年を記念し、町民や協会会員からの寄付により建てられた茶室です。贈呈から30年あまり経過し畳が老朽化したことから、当時と同じく寄付金を募り、今回の畳替えを実現しました。

8月23日に行われた贈呈式では、カンパテッリ市長をはじめ、市議員や市民の皆さんが見守る中、甘楽町国際交流振興協会の新井理事長より目録が手渡されました。皆さんからのご協力により畳を届けることができました。ありがとうございました。



新井理事長よりカンパテッリ市長へ目録贈呈

▶寄付総額 708,455 円



▶よみがえった茶室

